

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

渋谷区立渋谷保育園 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

好奇心を持つ
きっかけを増やす
 考えを広げる
 考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

- | 自己にかかわる心の力 | 社会性にかかわる心の力 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●自尊心 ●自己肯定感 ●意欲 ●粘り強さ | <ul style="list-style-type: none"> ●心の理解能力 ●共感 ●思いやり ●協同性 |

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援
乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都と CEDEP は、「とうきょう すくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょう すくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



渋谷区立渋谷保育園

電話
03-3401-0952
所在地
渋谷区神宮前 3-18-8



渋谷区立渋谷保育園で

3歳児
クラス



とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

テーマ 音

生活する中で欠かせないものであり、当たり前と一緒に生活している音について、どう感じ、どう考えているのかについて深めました。

活動① 「アトリエ」を知ろう・音ってなんだろう？

園内の「アトリエ」は3歳児にとって初めての空間。「アトリエ」や「音」についてのイメージを聞いて、子供たちがそれぞれ興味を持った楽器に触れながら音を探究しました。



アトリエの中で、音を探してみよう

走る時の音や、机やベンチを叩く音、ものが落ちた時の音にも子供たちは気づいていました。

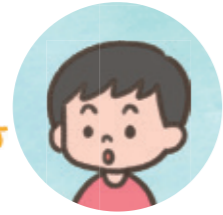


楽器はどんな音がする？

(マラカス)つぶつぶの音



(すず)ちりちり



最初緊張した様子であった子も、楽器を手にとると笑顔になり、表情がほぐれていました。うるさいと感じるような大きい音でも「楽しいから好き」という子が多かったです。

活動② 音のバリエーションを増やそう・組み合わせよう

活動①で使用した楽器に加えて、柔らかく繊細な音に気付けるように、多くの楽器に触れながら好きな音を探しました。

大きい音以外にも音があるのでは？と問いかけたことで、前回よりも優しく楽器を叩こうとしていました。



スネアドラムを叩くと側面にある穴から空気が出てくることに気がつき、空気と音の関係性を発見していました。

活動③ 音・穴・空気の関係性について考えよう

活動②でスネアドラムの穴から出る空気を見つけたことから、スネアドラムに焦点を絞り、空気と音の関係性を探究しました。



空気はどんな形で穴から出てくる？

へびみたいに
ニヨロニヨロ

強く叩くと
長く出てくる！
空気は長い



「空気は長い」という子供の言葉から、ひもなどを使って空気の形を表現しました。「空気は見えない」と言った子も、ひもやその他の素材によって、徐々に空気のイメージが引き出されていたようでした。

